

1. 学校教育目標 『ともに学び ともに育つ 大道の子』

めざす子ども像

- | | |
|---------------|---------------|
| ①心豊かで思いやりのある子 | ②ねばり強く取り組む子 |
| ③学びあい共感しあえる子 | ④すすんでチャレンジする子 |
| ⑤健康でたくましい子 | |

2. 学校経営の努力点

学校教育目標を具現化するために、教職員自身が「ともに学び、ともに育つ」を実感・実践しながら日々の業務に努め、児童だけでなく保護者・地域住民からの信頼を確立し、安心・安全で魅力ある学校づくりを推進する。

(1) 組織力の確立と向上

学年や分掌(部会)がチームとして共通理解を図り、発達段階に応じた指導、支援を充実させる。また、保護者を含め児童を取り巻く人材と丁寧に連携を図りながら、学校全体で組織的な取組を推進する。

(2) 教員としての資質・能力や専門性の向上

校内研究や校内研修の効果的な実践や外部研修での研鑽を通して広い見識や指導技術を身につけるとともに、学習指導要領の趣旨や今日的な課題を意識し、教育活動の充実に向けた専門性の向上に努める。

(3) 指導と評価の一体化の促進

どの児童も「わかる」、「できる」といった達成感を味わい、学ぶことの楽しさを実感できるよう、教材・教具の効果的な活用や体験的な活動の充実、指導方法の工夫改善に努めるとともに、日頃から教員同士が気軽に意見交流や授業参観を行い、指導力の向上、学習評価の妥当性・信頼性の向上を図る。

(4) 子どもたちの健全な心の育成

人権感覚や道徳的心情、主体性や自律心の育成をめざし、教育活動全体を通して、互いを認め合い思いやること、自分の行動に責任をもつこと、自ら考え判断することなどを意識した指導を行う。

(5) 地域とともにある学校づくり

行事や面談等の機会を捉え保護者との関係を構築したり、HP等を活用して地域へ情報を発信したりして、教育活動への理解の深化を図るとともに、学校運営協議会の協議を充実させ、魅力ある学校づくりを推進する。

3. 本年度の重点目標

①主体的に考え、行動する児童の育成…主に(4)に関わる

授業規律や挨拶、清掃や係活動等の日常的な取組、また行事や体験活動等の多様な活動を通して、児童が自ら考え、行動する力の育成を図る。

②教員の資質・能力、指導力の向上…主に(2)(3)に関わる

校内研究の充実や効果的な職員研修を推進し、児童の学びへの興味・関心を引き出し、主体的な学びや探究心を育成する授業を実践する。

③地域や保護者と連携・協働した学校運営の推進…主に(5)に関わる

学校に関わる諸問題を学校運営協議会で協議し、地域全体で児童の育成に関わるしくみづくりを推進する。今年度は「学校安全」、「地域と連携した体験的活動」、「教員の働き方改革」をテーマとする。さらに、協議会委員と教職員が親睦を図る取組を模索し、連携を深めていきたい。